

萩育林会が白水小学校で森林体験学習を実施しました

令和5年12月12日(火)、萩育林会（会長：堀忠行）が、萩市立白水小学校の3～4年生17名を対象に、森林体験学習を行いました。

この取り組みは、次世代の子供たちが森林の役割や林業の重要性などをより深く理解することを目指して実施しています。

白水小学校では、平成30年度からシイタケ栽培について学習を続けています。最初に、森林・林業についての説明を聞いた後、昨年駒打ちしたほだ木の本伏せ作業を行いながら観察したり、一昨年のほだ木から発生したシイタケを収穫したりしました。

その後、3年生7名で新たにシイタケの駒打ちを行い、学校の山際に仮伏せしました。3年生の児童からは「駒打ちが楽しかった」と言った感想が聞かれました。

萩育林会では、引き続き、白水小学校のシイタケづくりを見守っていくこととしており、シイタケ栽培がきっかけで林業への関心が深まることを期待しています。



ほだ木の状態を確認



駒打ち作業